

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ナチュラルこどもハウス東中浜店		公表日		2026年 3月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・児童発達と放課後デイの利用時間が重なる際は、それぞれの利用数や特性に応じてスペースを分けたり、合同にしたりすることで有効活用している。 ・身体を動かすことのできる活動を行う際には、安全に配慮して進行方向を決めるなどして実施している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・利用児童の人数や特性に合わせて、職員の人数の調整と活動内容を決めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・個人の荷物を入れるBOXに顔写真と名前を貼るなど、視覚的にわかりやすい。 ・整理スペースがあり、子どもが自由に動き回れる環境だが、別室で個別対応できる部屋がなく、区切りをしていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・日々、清掃を行って清潔に保っている。消毒に関しても定期的に行い、感染症の蔓延を予防している。 ・備品の配置などを定期的に見直し、快適に過ごせるよう環境整備を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	・児童の様子に合わせて、マットやパーテーションなどでスペースを区切るなどしている。 ・分離した空間を作れるよう、検討していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・ミーティングや引継ぎノートを通して常に業務改善を進めている。 ・毎日の終礼時に気づいた課題の共有をし、改善に向けて計画・実行を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・年度末にアンケートを実施し、今後の支援につなげられるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	・定時の話し合いを設け、気づいたことを伝え合って意見を出し合っている。また、普段から誰でも話しやすい関係性や環境ができています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・外部評価は実施しておらず、導入については今後の検討課題とします。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・外部研修や社内研修を行っている。 ・個々に気になった研修を受講できるようになっている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・HPIにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・定期的なアセスメントに加え、日々の保護者様との引継ぎ時に情報共有をすることができている。 ・お子様と保護者様のニーズや課題は職員間で共有し話し合いを行っている。 ・個別支援会議において、支援方針の共有を行うとともに、支援内容の一覧をすぐに見られるようすることで、計画的な支援を行えている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・ガイドラインに沿った計画書を作成し、具体的な支援内容の設定をしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・事前に療育の内容案を作成し、全職員が確認できるようにしている。 ・個人の知識や経験に基づくプログラムが多い面もあるため、研修等を行う。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・カレンダーに記入することで、内容の多様性が保たれるようにしている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・療育の記録をもとに、より良い支援として何が出来るかを検討したうえで、新しい手法も取り入れつつ行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・毎朝のミーティングで、支援内容や職員配置の共有や確認を行っている。 ・終礼時には保護者からのヒアリング内容や、その日の気になった児童の様子、その他の課題などを共有し、改善策を考えることで、より良い支援に繋げられるようしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・活動終了後にはそれぞれの児童の様子についての記録を残し、それらを見直すことで支援の方法を改善することができている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・6ヶ月以内でモニタリングを行っている。また、利用開始の際には、3ヶ月でのモニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・主に児童発達支援管理責任者や担当職員、管理者などが出席をしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・応じてもらえる機関とは時折相談しているが、かかりつけ医が少し距離的に離れている。 ・園とは連絡帳で当日の様子を知ったり、送迎時の情報共有、電話でのやり取りなどで連携を図っている。 ・今後、必要に応じて関係期間からの問い合わせなど情報共有し関係機関との連携に努める。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4	・現在はスーパーバイズを受ける機会はないが、今後は必要に応じて検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・保護者様のご意向を踏まえながら、交流の機会を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳や送迎の際に療育の内容やその日の様子を伝え、必要に応じて保護者様と相談をしたり、事業所での様子や課題についてお話している。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・今後スキルアップを図り、ご家族への支援の拡充をさらに行っていきたいと考えている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・見学時と契約時に、口頭と書面で丁寧に説明を行うよう心掛けている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・事前にアセスメントシートを配布し、意向を確認する機会を設けている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・必ず保護者様に説明し、同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・様々な形で、保護者様からの相談を受け付けて丁寧に対応するように努めている。 ・課題やお悩みが出た際には、職員間で共有をしより良い方法を考えながら対応している。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・保護者様のご意向を踏まえて行いたいと考えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談窓口を設置し、保護者様にも契約時にお伝えしている。 ・苦情や意見があった場合は職員間で共有、改善している。 ・苦情そのものが少ないため、こちらから踏み込んで聞きとりやアンケートを取ってもいいかもしれない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・SNSにおける定期的な発信を行っている。 ・日々、連絡帳において写真と共に療育の様子を伝えている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1	・鍵のあるロッカーで厳重に管理しており、職員への研修や誓約書の確認などを行っている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・連絡帳や送迎時、またはお電話を通して、保護者からの情報を得ている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・今後検討し地域とのつながりを作っていきたいと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・定期的に職員間で周知し、想定事例などを基に実施している。 ・月に1度、避難訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・服薬が必要な際は、事前にお薬札を提出していただいている。 ・服薬や体調に変化があれば周知している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・アレルギーがある場合は、保護者様から詳細を確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・研修にて全職員が周知するよう取り組んでいる。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	・契約時に説明を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・全職員が必ず確認するよう仕組み化して共有している。 ・再発防止に向けた話し合いを実施している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	・定期的を実施している。 ・社内研修にて全職員が参加し、認識の共有を図っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・対象となる児童がいないが、今後も留意していく。	